

いよいよ始まる市民参加

こみ久美子 くらみ くらみ

「事業仕分け」は9月です!

国民の関心を大きく集めた「事業仕分け」だが、予算削減だけが注目されている。だが実際はそれ以上の効果も大きい。公開で行うことで、税金の使われ方、行政運営の透明性が確保でき、さらには行政職員の意識改革に大きく寄与する。いよいよ深谷市も取り組むが、どのように実践していくのか。

前年踏襲主義で行ってきた市の事務事業を「事業仕分け」という手段を用い、客観的に費用対効果も含めた検証と見直しにより、その結果を予算に対する一つの判断材料とする。

減という視点だけでなく、行政から市民へのわかりやすい情報発信(見える化)という成果を重要視すべきでは。

市の情報発信を多くの市民が受け取れるように、土曜日曜日や平日の夜など、来やすい日程に配慮すべきだと考えるが。

十分配慮して日程を組む。市長マニフェストの目玉である予算の検証と見直し、行政運営の透明性、職員の意識改革など、実質的成果が求められると考えるが。

既に実施している自治体などを十分調査研究し、多角的な視点から、『深谷市事業仕分け』を大きな成果を出せるよう取り組む。



市政運営の基本方針を問う

ひとし 均

「新たなまちづくりのスタートラインに立っていない」とは、どういう見解なのか。

新市への一体感を築き上げていくためには、まだまだ取り組みなければならぬという考えをお伝えしたかった。

取り組んでいるということとはスタートしているということだ。リーダーであるということを頭に置き、言葉の持つ重みに敏感になってほしい。

経常収支比率についての表現の中で、「夕張市に近づいている」というのも誤解を生むものである。全国の基礎自治体が同じような数値になり、それらに比べ、深谷市は努力の成果が見えているのではないかと。参考までに、一般会計において、仮に歳入を一定にし

た場合、歳出をいくらか削減すると75%になるのか。

飯の話であるが、歳出だけを見ると43億9千万円の減額である。



後味の悪い市長選挙をどう総括しているのか

今回の選挙が良識と良心の政策論争であったと言えるのか。戦後65年、民主主義のために多くの人が汗を流してきた。その思いからすると、今回の選挙は全く評価できない。組織のトップリーダーとして、自分の知らないところで起こった瑕疵について、どのような責任があるのか考えてほしい。今回の選挙をもう一度総括し、検証する心づもりはあるのか。

- 人事案件
副市長、教育委員会委員等の選任及び任命について、市長から提案があり、審議の結果、適任と認め同意しました。また、選挙管理委員会委員等の選挙(指名推薦による)や推薦が行われ、次のとおり決定しました。
深谷市副市長の選任に同意
深谷市教育委員会委員の任命に同意
深谷市監査委員の選任に同意
深谷市公平委員会委員の選任に同意
深谷市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
深谷市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果
委員
宮島 典子
眞下 裕史
補充員
中村 一夫
島田 良一
人権擁護委員の推薦
松本 健治
深谷市農業委員会委員の推薦
小島 進

市民の声を国政に!

3月議会最終日に、議員提出議案として次の意見書が提出され、審議の結果、原案どおり可決されました。以下、内容を要約し掲載します。

請願の審査結果 (採択)
請願第30号
介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書提出への請願
深谷市大谷1113-12
公明党深谷支部地区委員
島中 正夫



武井 敏男

補欠選挙で新議員誕生

2月7日に深谷市議会議員補欠選挙が行われ、武井敏男氏が当選されました。なお、所属委員会は総務委員会となりました。

3月定例会 議案等の審査結果一覧表

Table with columns for item number, title, and status. Includes items like '条例の制定' and '補正予算'.

ふかや市議会だよりは、点字版とテープ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会(TEL573-6563)へご連絡ください。